ポスター発表

2025年11月2日(日) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P2] ポスター発表 #2

[P2-32] 北九州市における建物由来のエネルギー消費量の詳細化推計と空間分析

*原 理純[1]、叢 日超[1]、藤山 淳史[2]、松本 亨[2] (1. 静岡文化芸術大学、2. 北九州市立大学)

キーワード：スマートモニタリング、脱炭素効果、空間分析、国勢調査、エネルギー消費量

近年、日本各地で脱炭素関連の事業が取り組まれている。一方で、脱炭素事業の効果を精緻に測定・評価する手法の開発が課題となっている。そこで、本研究では脱炭素先行地域の一つである北九州市を取り上げ、住宅によるエネルギー消費量の推計と分析を行った。具体的な推計は2020年度の国勢調査の小地域(町丁・字等)データと環境省による家庭部門のCO2排出実態統計調査(九州地域)を用いて行った。その結果、2020年度の北九州市の電力消費量は11PJということが明らかとなった。また、そのうち戸建ての世帯による消費量は75%を占めていた。ガスを含めたエネルギー消費量は19PJであった。さらに、空間分析も行った。今後は、将来にむけて建物の建て替えや再生可能エネルギーの導入を考慮した評価モデルを構築していく予定である。

©一般社団法人地理情報システム学会